

令和7年度「学校教育の指針」より

～各教科等で身に付けたい資質・能力の育成～

教師が「～させる」授業から、**児童生徒が「～する」**授業へ

社会科で特に現れてほしい子供の姿

授業づくりのポイント

社 会

- 社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている

- ・課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。
- ・考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

授業参観の視点

- 「特に現れてほしい子供の姿」は現れていたか。
- 児童生徒の自走を支える環境の構成は妥当であったか。

授業改善研修会 社 会

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

1. 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景
3. 社会科の「特に現れてほしい姿」を具現化するために

本日のまとめ

- 単元の課題の解決に向けて、「何を調べればよいか」を捉える場面を設定しましょう。
- 「社会的な見方・考え方」を働かせる問いを想定して、教材や資料を準備しましょう。

エージェンシーとは、
「人が誰しも生まれ
ついて持っている
自分と社会をより
良くしようと願う
意志、原動力」

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育施策基本計画)」の実現に向けて～

幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます



自分で学びを
つくること
楽しいわ



知らないことも
知るのび
うれしいわ

違う考えが
あるから
面白いわ



失敗してもいい
自分から学ぶのが
怖い



社会をつくるのも
楽しいの、でも
知らないことも
知ちゃって
おもしろい

学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が見るといいです
そのためには、子供たち一人一人が**エージェンシー**を
発揮する**自律した学習者**になっていくことが大切です。



でも、実際は、こんな意見の子が多いなー
＜ 間違えてもいいからとにかく試してみよう。＞
それされた方がすげえいいわ。

エージェンシー？カタカナで分りづらいけど、**自律した学習者**？また新しいことをしなければいけないの？

エージェンシーとは、「人が誰も生まれて持っていない自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力」です。
 学校内では、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまでも実行されてい
 ち、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を促し、学びの機会を造ることです。

一歩目の挑戦を要するだけの
変態的な学び

困難な学びで学ぶ
(主体的・対話的で深い学び)

(取り入れたい価値)

**自己
決定**

**対話
交流**

**試行
錯誤**

子供たちの力を磨くということは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放
任することや意味がありません。問題を解決していく学びの中で、右に示した価値を
意識的に取り入れていくことが大切です。押しこめ強要することなく促していく。
 私たち教師も**エージェンシー**を発揮し、新しい物事に前向きに取り組め、チャレンジ
 する姿勢や、実りゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきたいと思います。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！



● 群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようと願う意志を原動力として、環境
 に応じて成長しようとする力を持っている。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試
 行錯誤しながら取り組んでほしい。



令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを推進する一歩として)

メッセージ
動画はこちら

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意図した問題解決的な学びを行いましょう。
- 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意図した発問等）を行いましょう。

※子供たちが好きなことを自由にしようということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

エージェンシーを発揮（自律した学習者）

《取り入れたい場面》

| | | |
|-------|-------|------------------------|
| 自己決定 | 自己決定 | 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む |
| 対話・交流 | 対話・交流 | 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める |
| 試行錯誤 | 試行錯誤 | 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く |

発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」を意図に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面（水遊びおもちゃ）

昨日、先生がくじらから水を出していたの。

どうしようもないかな？

水が出ない...

出た！

ペットボトルを持ち上げると、水が出た。

水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

行事等

暮らしの想いを自由に表現する作品展

自治体や組合に基づく手作りの行事

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の粘土と長さを比べたいな。でも動かすと粘土が切れちゃう...

リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようにします。

リボンを使えば比べられそう。鉛筆も半分でも比べられるかも...

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきたいと思います。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

実際に測る

作図して考える

学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選べるようにします。

自分は実際に実験をして確かめたいけれど、友達のように前に学んだ作図を使っても手番が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さを味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

体験や交流を通して課題を見いだす場面

仲間とともに考える場面

探究してきたことをアウトプットする場面

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

●英語コミュニケーション！課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

誰もが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？

Your Project

To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

新しい地域づくりを目指す花植えボランティア

自分で事業所を見付けて決める職場体験

ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

高等学校

中学校

小学校

行事等

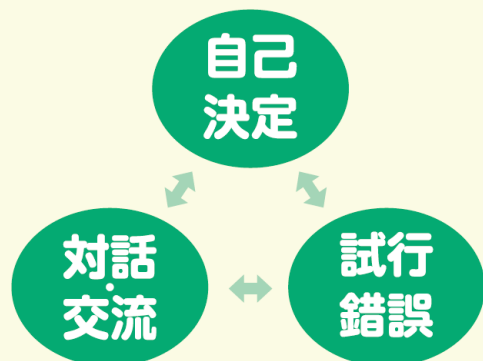
自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

一斉型の講義を受けるだけの
受動的な学び



能動的で他者と協働した学び
(主体的・対話的で深い学び)

《 取り入れたい場面 》



自己決定

当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む

対話・交流

自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める

試行錯誤

失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

昨年度の取組（高山村立高山小学校・東吾妻町立東吾妻中学校）

○「つかむ」課程において予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定

○各自が持った考えについて、資料や交流活動を活用して再考する機会を設定



昨年度の成果

- 児童生徒が社会科の学び方を理解する
- 見通しを持って学習に取り組む
- 課題（めあて）に対する自分の考えやその根拠を他者と交流しながら、友達と試行錯誤する



自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

社会

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

令和7年度

社会科で特に現れてほしい子供の姿

- 社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている

授業づくりのポイント

- ・課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。
- ・考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

→詳しくは、[令和6年度授業改善研修会資料参照](#)

2.「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

社会科の問題解決的な学習の過程

社会科で特に現れてほしい子供の姿

○社会的事象の特色や意味、**社会課題の解決策等**を多面的・多角的に考察、**構想（選択・判断）**し、**図や文にまとめたり説明したりしている**

「姿」は以下を満たした授業で現れることを想定

①単元で構想した授業

②習得した知識（事実）を基に、概念的知識に近づく場面や、未来を構想する場面

③「子供の裁量の多いアウトプット」が要請される活動

【課題をつかむ】

- **一人一人が**社会的事象に関わる資料を基に調べたいことや疑問を考える
- **学級全体で**共有・焦点化を図る
- 単元の課題をつかむ
- 予想を基に学習計画を立てる



【追究する】（各単位時間で繰り返す）

- **一人一人が**解決に必要な情報を収集する
- **一人一人が**収集した情報を整理する
- **学級全体で**整理した情報を基に考察する



【まとめる（・生かす）】

- **一人一人が**学んできたことを基に、単元の課題の結論を考える（社会の関わり方や改善策を考える）
- **学級全体で**単元の課題に対する結論を話し合う



2.「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

社会科で特に現れてほしい子供の姿

○社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている

「姿」は以下の授業の中で現れることを想定

- ・ 単元で構想した授業
- ・ 習得した知識（事実）を基に、単元の概念的知識に近づく場面や未来を構想する場面
- ・ 「子供の裁量の多いアウトプット」が要請される活動

社会科の問題解決的な学習の

授業づくりのポイント

【課題をつかむ】

- 一人一人が社会的事象に関わる資料を基に調べたいことや疑問を考える
- 学級全体で共有・焦点化を図る
- 単元の課題をつかむ
- 予想を基に学習計画を立てる



- ①課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。

問題（課題）解決への見通しを持つ活動の充実

【追究する】（各単位時間で繰り返す）

- 一人一人が解決に必要な情報を収集する
- 一人一人が収集した情報を整理する
- 学級全体で整理した情報を基に考察する



授業づくりのポイント

- ②考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

【まとめる（・生かす）】

- 一人一人が学んできたことを基に、単元の課題の結論を考える（社会の関わり方や改善策を考える）
- 学級全体で単元の課題に対する結論を話し合う



児童生徒の自走を支える環境の構成

2.「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

なぜ「図や文にまとめたり説明したりしている」と、姿を具体化したのか。

特に現れてほしい子供の姿

○社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている。

こんなことはありませんか？

- 自分の考えを自分の言葉でまとめる活動になっていない
- 社会科で学んだ言葉を使ったまとめになっていない
- 先生が抽象的なまとめを板書している
- まとめではなく、感想になっている

《 取り入れたい場面 》



1.平成29年 学習指導要領の主な改定のポイント

- 公民としての資質・能力の基礎の育成に向けて、社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決の見通しをもつ活動や社会的事象の特色や意味を考え説明する活動などの問題解決的な学習活動の充実を図る。
- 中学校社会科への接続・発展を視野に入れて、内容の枠組みと対象を「地理的環境と人々の生活」「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」「歴史と人々の生活」と整理し、社会科の特質を踏まえ、内容の改善を図る。

2.成果と課題

成果

- ・ 資料から問いを見いだすこと
- ・ 資料から情報を読み取ること

課題

- ・ 問題解決の見通しを持とうとすること
- ・ 社会的事象の特色や意味を考え説明することや、読み取ったことを基に図や文にまとめること
- ・ 社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとする
- ・ 基礎的な知識及び技能の定着、具体的な事実に基づいて社会的事象の特色や意味を理解すること

3.改善の方向性

○指導上の改善点

- ① 学習の問題について追究・解決の見通しをもつ活動
 - ② 複数の情報を関連付けて社会的事象の特色や意味を考え説明する活動
 - ③ 学習で身に付けた知識を使って自分で考えた図や文などでまとめる活動
 - ④ 社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちできることなどを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする活動
- 重視する

内容に関しては、例えば、地理的環境の学習において基礎的な知識や技能が定着する指導

例えば、政治の学習において具体的に事実や意義などを政治の働きと結びつけて考えるようにする指導

3. 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する」社会科授業に向けた2つの視点



問題（課題）解決への見通しを持つ活動の充実



授業づくりのポイント

- ・ 課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。

☐ 児童生徒の自走を支える環境の構成



授業づくりのポイント

- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

3. 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する」社会科授業に向けた2つの視点

✓ 問題（課題）解決への見通しを持つ活動の充実

授業づくりのポイント

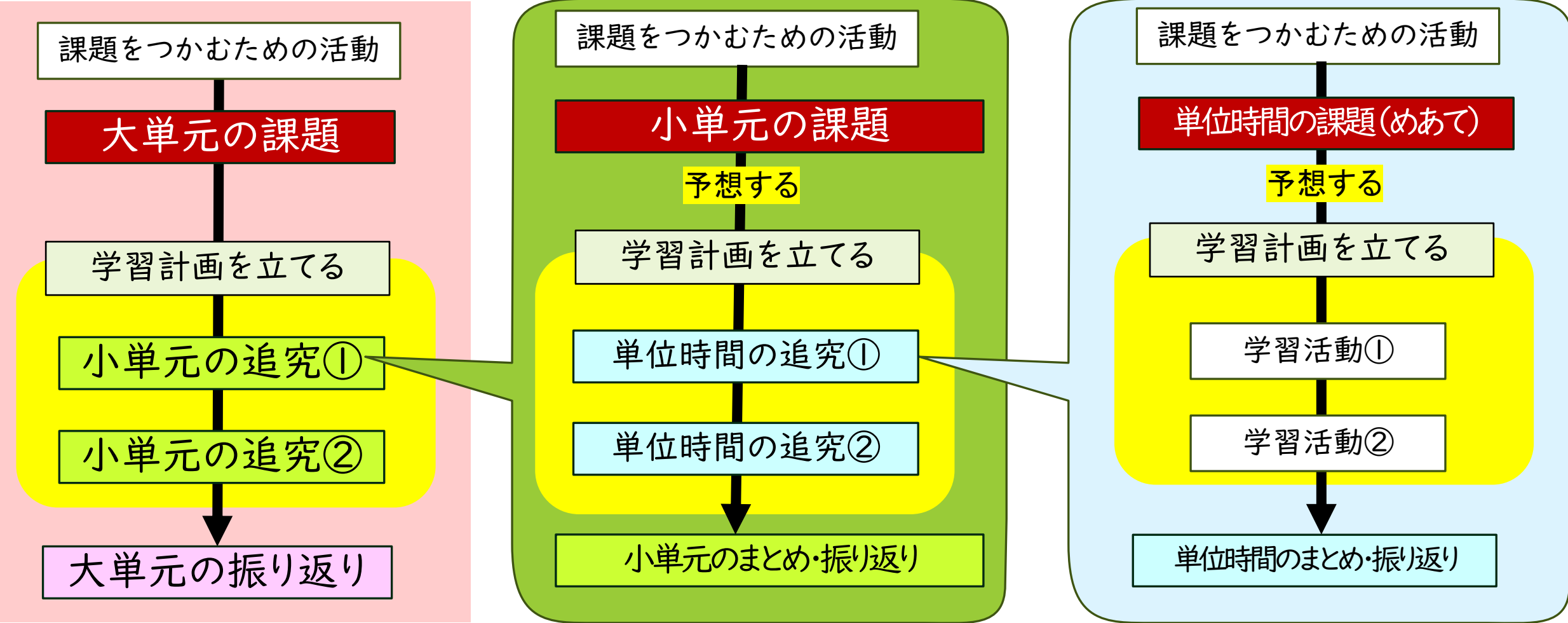
- ・ 課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。



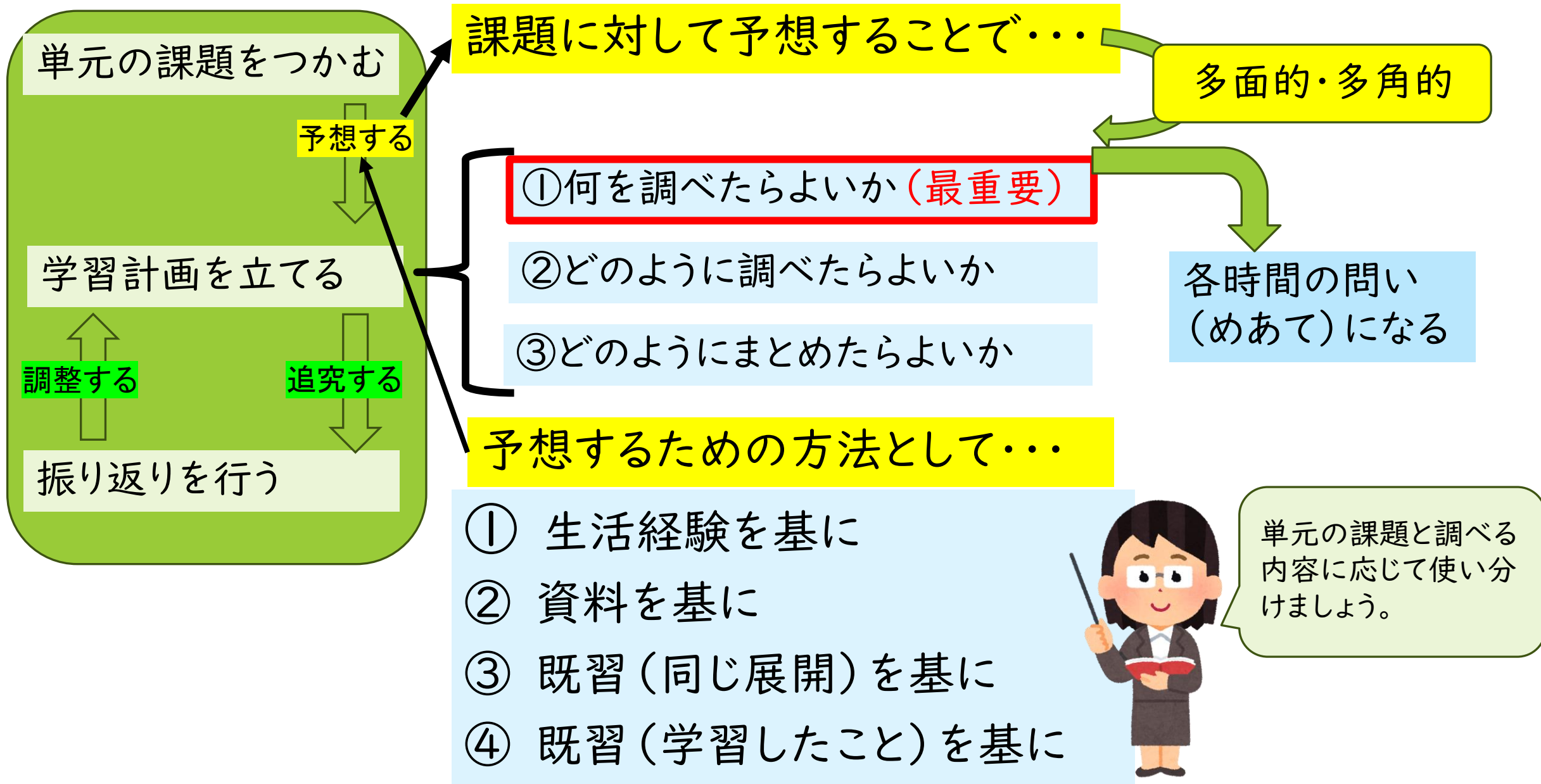
- ◆ 学習計画は児童生徒がつくるの？
- ◆ どのように作ればいいのか？

□ 単元の課題の解決に向けて、「何を調べればよいか」を捉える場面を設定しましょう。

児童生徒が、社会科の学び方と、構造（大・小単元、本時の入れ子構造）を捉えること



問題（課題）解決への見通しをもつためには、課題に対する予想をする



単元の課題の解決に向けて、どのようなことを調べているか（小学校）

福島小「守りたいもの残したいもの」

単元の課題と調べることのつながりが明確

学習過程

「つかむ」

県内に古くから伝わるものにはどのようなものがあるか。

↓いわゆる「入れ子型」構造

単元の課題と学習計画を立てよう。【富岡製糸場、高崎だるま、桐生八木節祭りに焦点化】

単元の課題：県内に古くからあるものは、どのようにして受け継がれてきたのだろう。

「追究する」

①富岡製糸場にはどのような歴史があり、どのように受け継がれてきたのか。

②高崎だるまにはどのような歴史があり、どのように受け継がれてきたのか。

③桐生八木節祭りにはどのような歴史があり、どのように受け継がれてきたのか。

「まとめる」
「生かす」

調べたことを基に、県内に古くからあるものがどのようにして受け継がれてきたのか、まとめよう。

これからも笹森稲荷神社を残すために、自分たちには何ができるのか。

学習計画を立てるまでのステップの一例

小学校

福島小4年「残したいもの 伝えたいもの」を例に



① 社会的事象と出会う

県内に古くから伝わるものを調べる活動



上毛カルタには古いものが多く取り上げられているね

富岡製糸場には行ったことがあるよ

高崎だるまは家にあるよ
八木節まつりも有名だね

ギャップ

② 自分の考えを持つ

焦点化

問いかけ

「なぜ富岡製糸場（高崎だるま、八木節祭り）は、今でも残されているのだと思いますか。」

「日本で最初の」だから、日本で初めてできた工場だったとか…

壊れても、そのたびに誰かが修理してつかってきたんだよ

世界遺産に登録できたからじゃないかな…

④ 学習計画を立てる

では、何を調べればよいでしょうか。

富岡製糸場の

(1) 歴史（始まり・できごと）

(2) 受け継いできた人たちの取組

高崎だるまの

八木節祭りの

・いつからあるのか
・これまでどのようなことがあったのか
・だれがどのように受け継いできた

③ 単元の課題をつかむ

単元の課題

県内に古くからあるものは、どのようにして受け継がれてきたのだろう。



学習計画を立てるまでのステップの一例

小学校 東京書籍 4年「災害からくらしを守る」を例に

① 社会的事象と出会う

過去に起こった災害を調べる活動

風水害の割合が多いな

昔に比べて今は被害が
小さくなったね

ギャップ

② 自分の考えを持つ

問いかけ

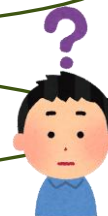
「なぜ被害が少なくなったのだ
と思いますか。」



防災施設が増えたから？

情報を得やすくなったから？

協力体制が整ったから？



③ 単元の課題をつかむ

単元の課題

風水害から私たちの暮らしを守るために、だれがどのような取組をしているのだろうか。

④ 学習計画を立てる

では、まず何から調べていこうか。

ダムや放水路などの施設を調べよう

県のホームページや町の防災無線
の仕組みを調べれば分かりそう

役場や消防、警察の人の取組を調
べよう

1. 県や国の防災施設を調べる
2. 県HPや町の防災無線を調べる
3. 役場で働く人の取組を調べる
4. 消防、警察の取組を調べる
5. 地域や家の人の取組を調べる

単元の課題の解決に向けて、どのようなことを調べているか（中学校）

甘楽中 地理「世界の諸地域～ヨーロッパ州～」

単元の課題の抽象度が高く、
生徒の疑問からは出しにくい。

学習過程

「つかむ」

単元の課題を設定し、学習計画を立てる

単元の課題：ヨーロッパ州では国同士の結び付きが強まることで
地域にどのような影響が生まれているのか。

「追究する」

- ①ヨーロッパ州の地形や気候にはどのような特徴があるのか
- ②ヨーロッパ州にはどのような文化や民族、宗教の特徴があるのか
- ③EUの統合によって、ヨーロッパ州の人々の生活はどのように変わったのか
- ④ヨーロッパ州の農業にはどのような特色や変化があるのか
- ⑤ヨーロッパ州の工業にはどのような特色と変化があるのか
- ⑥EUが抱える課題にはどのようなものがあるのか

「まとめる」

単元の課題に対する答えをまとめよう

単元の課題と、調べることの関連付けが難しく、
予想を基にした学習計画を立てにくい。

学習計画を立てるまでのステップの一例

中学校 甘楽中1年「世界の諸地域 ～ヨーロッパ州～」を例に

① 課題をつかむ

大単元の課題

世界の各州にはどのような地域的特色があるのだろうか。そして、地球的課題とどのように結び付いているのだろうか。

単元の課題①

アジア州ではなぜ急速に経済が成長してきたのか？

単元の課題②

ヨーロッパ州では、国同士の結び付きが強まることで、地域にどのような影響が生まれているのか？

単元の課題③ …

単元の課題④ …

…

② 予想をする

EUのように国通しの結び付きが強まると、地域にどのような影響が生まれるだろうか。
人やものの移動や通貨、産業におけるよい影響や課題をそれぞれ予想してみよう。

| | よい影響 | 課題 |
|-------|------|----|
| 人の移動 | | |
| ものの移動 | | |
| 通貨 | | |
| 産業 | | |

③ 学習計画を立てる

では、まず何から調べていこうか。

地域の基盤的知識に関する内容

- 1.ヨーロッパ州の自然環境
- 2.ヨーロッパ州の文化
(言語、民族、宗教)

単元の課題と結び付きやすい内容

- 3.EUの成立と人々の生活への影響
- 4.ヨーロッパの農工業とEUの影響
- 5.EUが抱える課題

学習計画を立てる際に、「調べること」を捉えられるように、
予想する際に、まとめの活動で用いる図表や視点を提示する

学習計画を立てるまでのステップの一例

中学校 東京書籍 歴史教科書「1節 武士の政権の成立」を例に

① 課題をつかむ

大単元の課題

中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか？

単元の課題①

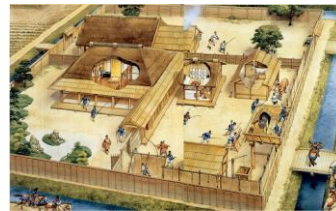
なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。

単元の課題②

東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

② 予想をする

1. 武士の時代になって、どのような政治が行われ、変化したのだろうか。(＋既習年表)



2. 武士や武士以外の庶民は、どのような暮らしをしていたのだろうか。



3. 当時の文化や宗教はどのような特色があるのだろうか。



③ 学習計画を立てる

では、まず何から調べていこうか。

○単元の課題と結び付きやすい内容

1. 武士の成長
2. 院政から武士の政権へ
3. 鎌倉幕府の成立と執権政治

○単元の課題と結び付きにくい内容

4. 武士と民衆の生活
5. 鎌倉時代の文化と宗教

学習計画を立てる際に、単元の課題と結び付きにくい内容を「調べること」として捉えられるように、予想する際に、調べることに関連する鎌倉時代の特徴的な資料の提示と問いかけを行う

小学校

- ・ 単元の課題と、調べることのつながりが明確
 - ・ 単元の課題を意識しながら単元の学習を展開しやすい
(児童の疑問から学習意欲を高めた方向付けを重視するため)
- 単元の課題と毎時間の問いとの関連をより意識した学習計画の作成が可能

中学校

- ・ 単元の課題と、調べることのつながりが比較的弱い
 - ・ 毎時間の問いの比重が大きく、単元の課題から遠い内容もある
(学習のゴールで獲得する概念的知識を重視するため)
- 単元の課題の抽象度が高いため予想が難しく、学習計画を作りにくい
多様な調べることへの見通しを持てるような工夫が必要

3. 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

児童生徒が「～する」社会科授業に向けた2つの視点

□ 問題（課題）解決への見通しを持つ活動の充実



授業づくりのポイント

- ・ 課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。



児童生徒の自走を支える環境の構成



授業づくりのポイント

- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

3. 「特に現れてほしい子供の姿」を具現化するために

○社会的事象の特色や意味、社会課題の
解決等を多面的・多角的に考察、構
想（選択・判断）し、図や文にまとめ
たり説明したりしている

児童生徒が「～する」社会科授業に向けた2つの視点

✓ 児童生徒の自走を支える環境の構成



- ◆ 児童生徒一人一人に考えさせても、まとめられそうにないな。
- ◆ どうすれば児童生徒が自分で考えやまとめを書けるようになる？

授業づくりのポイント

- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

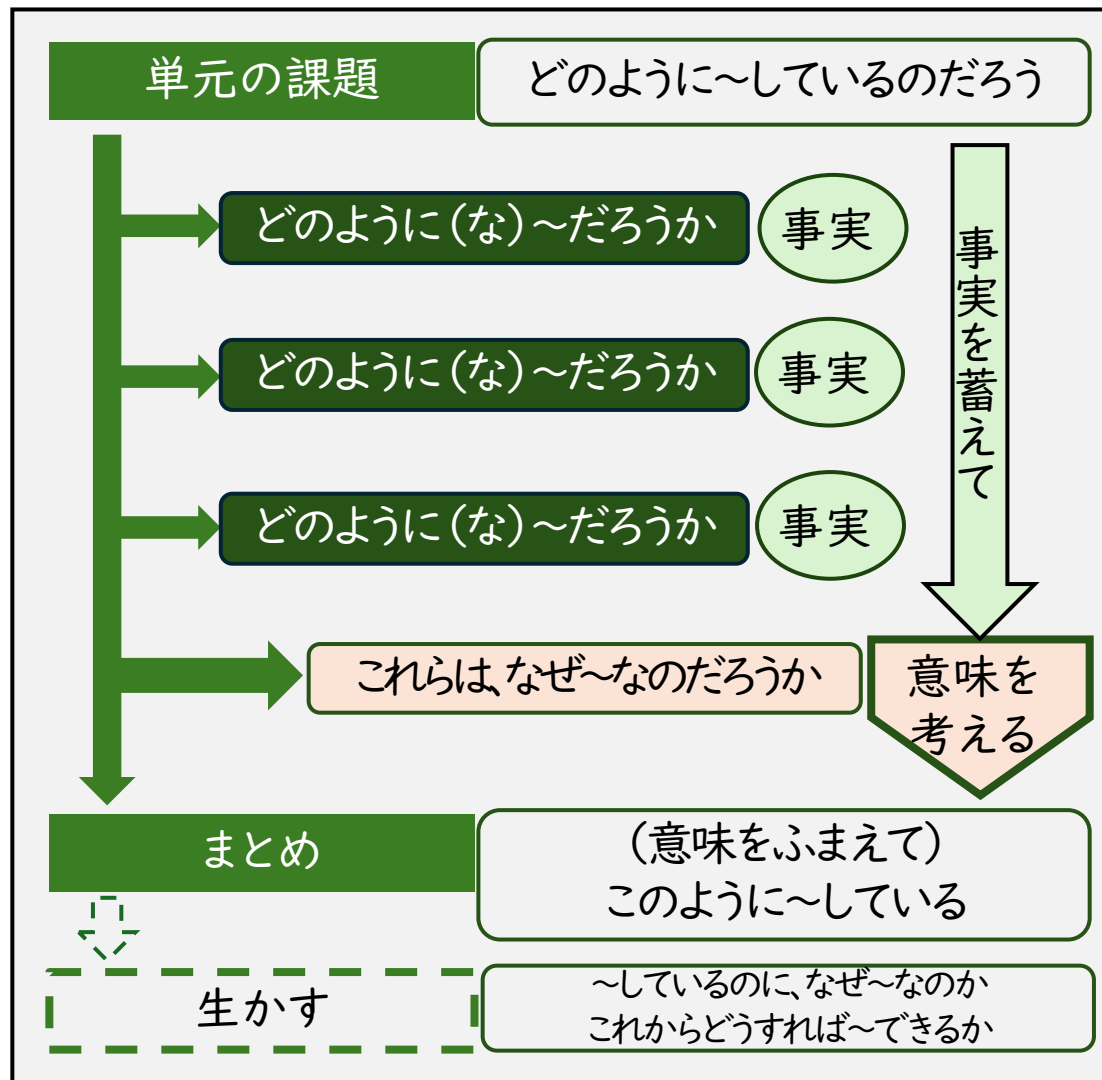
□ 「社会的な見方・考え方」を働かせる問いを想定して、教材や資料を準備しましょう。

問いが、学びを導く

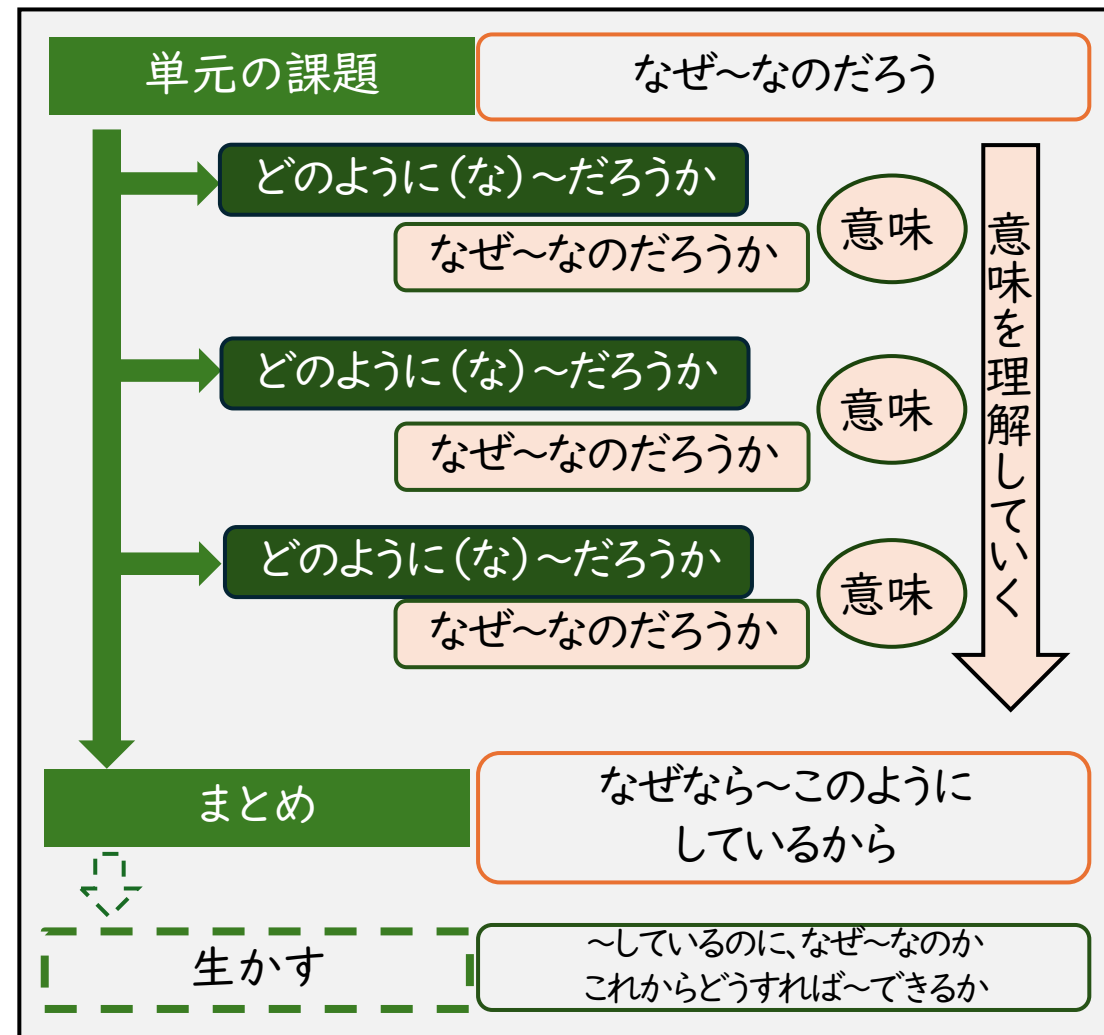
その問いは、社会科の
深い学びに向かっているか

「どのように」で事実を蓄えて、「なぜ」で意味を考える、問題解決の入れ子構造

〈「どのように」型の入れ子構造の例〉



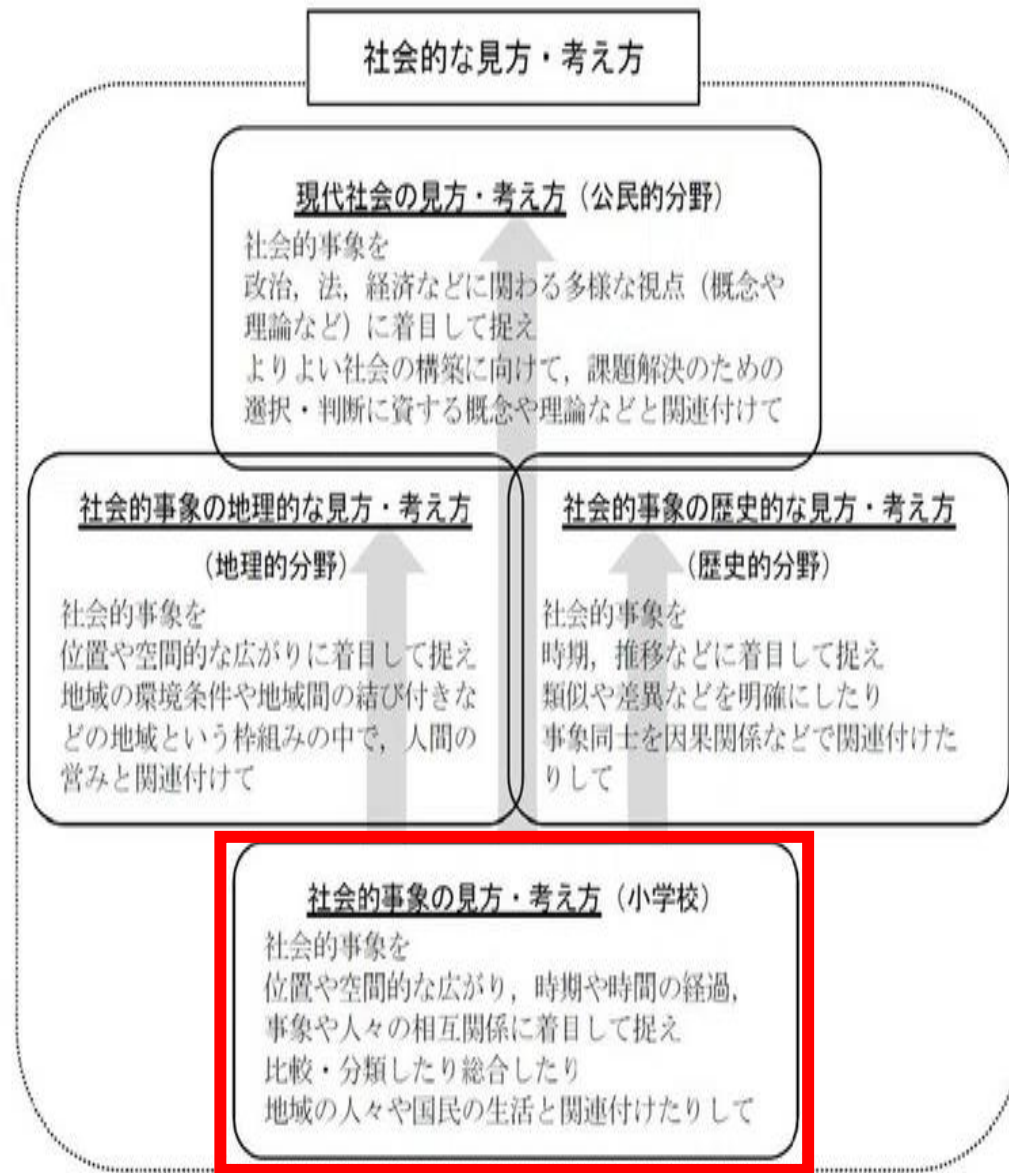
〈「なぜ」型の入れ子構造の例〉



澤井陽介「社会科の授業デザイン」(2015)より

この基本構造を意識して、単元の課題やめあてを構成 → 社会科の深い学びへ

「社会的な見方・考え方」に示される視点と、考えられる「問い」の例



〈小学校の例〉

| 視点 | 考えられる具体的な「問い」の例 |
|-------------------------------------|--|
| 地理的 位置や空間的な 広がり の視点 | <ul style="list-style-type: none">● どのような場所にあるか● どのように広がっているのか● なぜ、この場所に集まっているのか● 地域ごとの気候は、どのように違うのか など |
| 歴史的 時期や時間の 経過 の視点 | <ul style="list-style-type: none">● いつ、どのような理由で始まったのか● どのように変わってきたのか● なぜ変わらずに続いているのか など |
| 关系的 事象や人々の 相互関係 の視点 | <ul style="list-style-type: none">● どのような工夫や努力があるのか● どのようなつながりがあるのか● なぜAとBの協力が必要なのか など |

福島小 社会的事象の「これまで」から「これから」に目を向ける資料の提示

授業づくりのポイント

- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

単元の課題

(歴史的視点) 県内に古くからあるものは、どのようにして受けつがれてきたのだろう。

を解決して、県内の様々な古くから残るものが、地域の人々の心のよりどころとして大切にされていることを理解

生かす過程

<時間の経過や事象と人々の関わりに着目させて、**事象の未来に目を向ける資料**の提示>



かつての例大祭の様子



時間の流れ



現在の笹野森稲荷神社とその課題

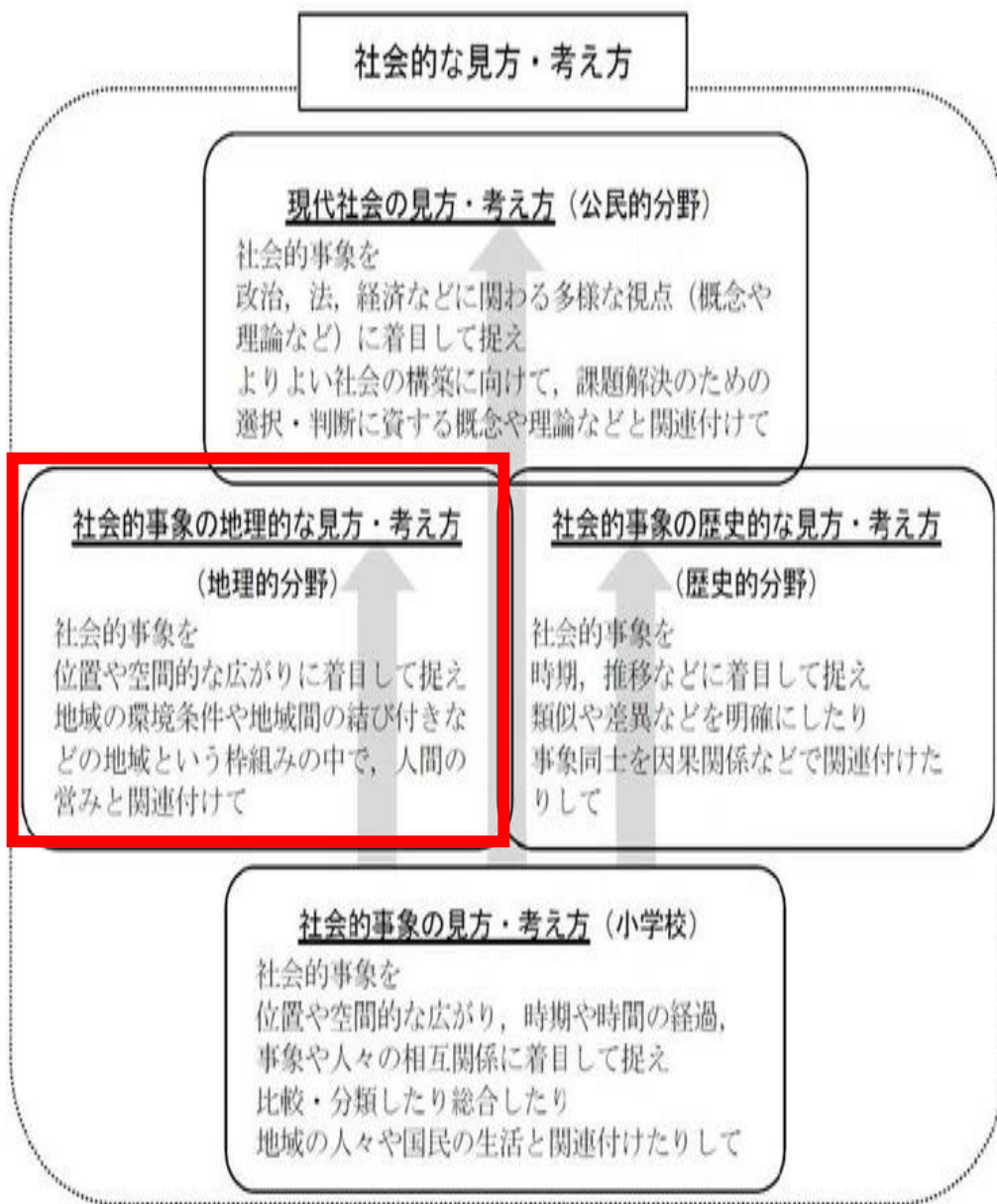
笹森稲荷神社のかだい

- ・ 氏子さんがへっている。
- ・ 新しく甘楽町に来た人が、氏子にならない人が多い。
- ・ 浦安の舞をする子どもがへっている。
- ・ 3万人の人が来ていた市が小さくなってしまった。
- ・ 太々神楽の保存会がなくなり、神楽をする人がいなくなっている。
- ・ 神社の保存がだんだん苦しくなっている。(お金)
- ・ 神社を知っている人が少なく、参拝客が少ない。

(未来的視点) 10年後の例大祭はどうなっていくと思いますか。

めあて 笹森いなり神社やお祭りを残していくために、(これから) 自分たちにどのようなことができるだろう。

「社会的な見方・考え方」に示される視点と、考えられる「問い」の例



〈中学校地理的分野の例〉

| 視点 | 考えられる具体的な「問い」の例 |
|----------------|--|
| 位置や分布 | <ul style="list-style-type: none">● それはどこに位置するのか● どのように分布するのか● なぜそこに位置するのか● なぜそのような分布の規則性、傾向性を示すのか など |
| 場所 | <ul style="list-style-type: none">● それはどのような場所なのか● そこでしか見られないのか● 他の地域にも見られるのか など |
| 人間と自然環境の相互依存関係 | <ul style="list-style-type: none">● そこでの生活は、周囲の自然環境からどのような影響を受けているのか● そこでの生活は、周囲の自然環境にどのような影響を与えているのか● なぜそのような影響を受けて（与えて）いるのか など |
| 空間的相互依存関係 | <ul style="list-style-type: none">● そこは、それ以外の場所とどのような関係を持っているのか● なぜ、そのような結び付きをしているのか など |
| 地域 | <ul style="list-style-type: none">● この地域は、どのような特色があるのか● この地域と他の地域とでは、どこが異なっているのか● どのような地域にすべきか など |

甘楽中 地域における地球的課題の現れ方は、地域的特色の影響を受けて異なることに気付かせる資料

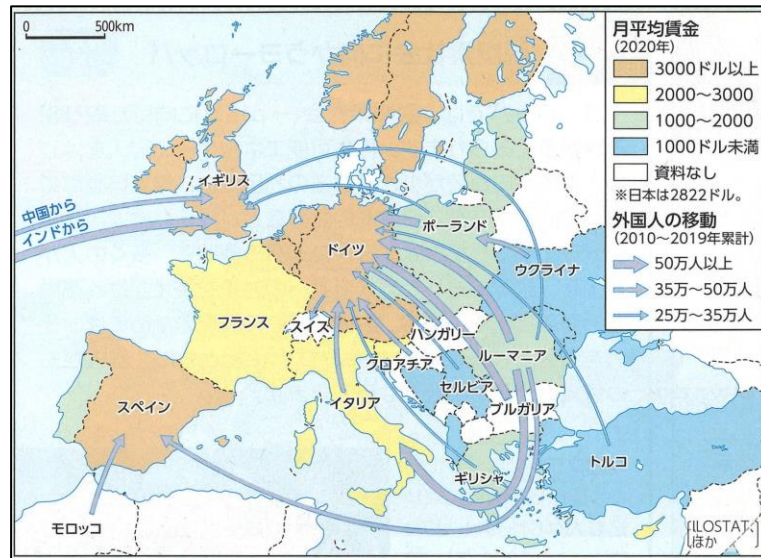
授業づくりのポイント

- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

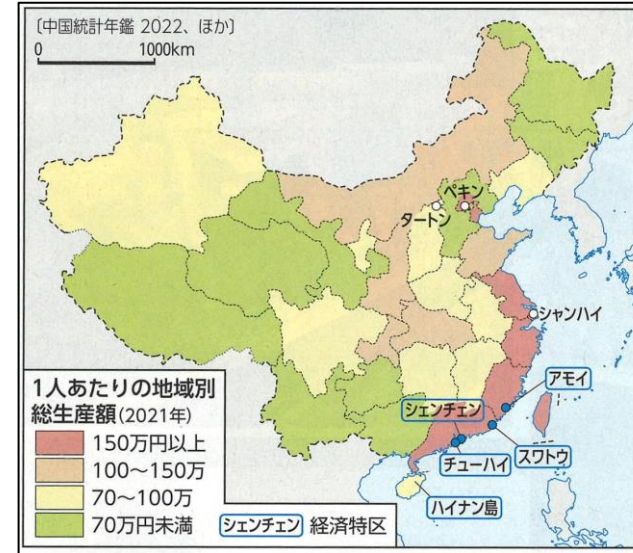
単元の課題

(空間的相互依存作用の視点) 【単元の課題】ヨーロッパ州では国同士の結び付きが強まることで、地域にどのような影響が生まれているのか

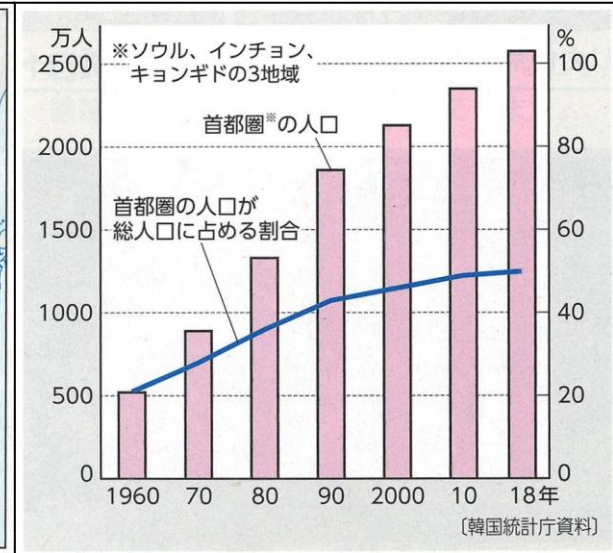
＜ヨーロッパ州の地域的特色における経済格差の問題と、既習のアジア州の経済格差を比較提示する＞



ヨーロッパ諸国における月平均賃金と外国人の移動



中国の一人あたりの地域別総生産額



ソウルとその周辺の人口の変化

(地域の視点) EUと中国・韓国における経済格差の特徴にはどのような違いがあるか、それはなぜか

ヨーロッパ州では、EUによって国同士の人や物の移動が自由化された一方で、**国家間の経済格差**が課題となっている。

自由化に伴う経済格差の問題は、地球的課題であり、その現れ方は地域的特色の影響を受けていることを理解

目的を明確にした交流の場の設定

授業づくりのポイント

- ・考えを深めるための効果的な資料を提示したり、
目的を明確にした交流の場を設定したりする。

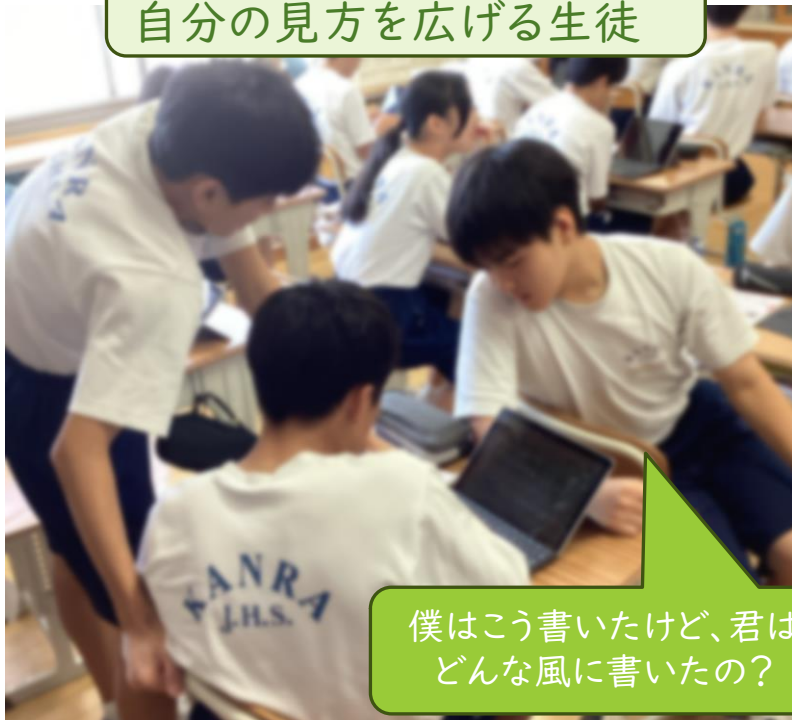
対話・交流の目的を持てる問い



- ・複数の異なる方法で解決できる問い
- ・多面的な見方ができる問い
- ・多様な解釈ができる問い など

甘楽中

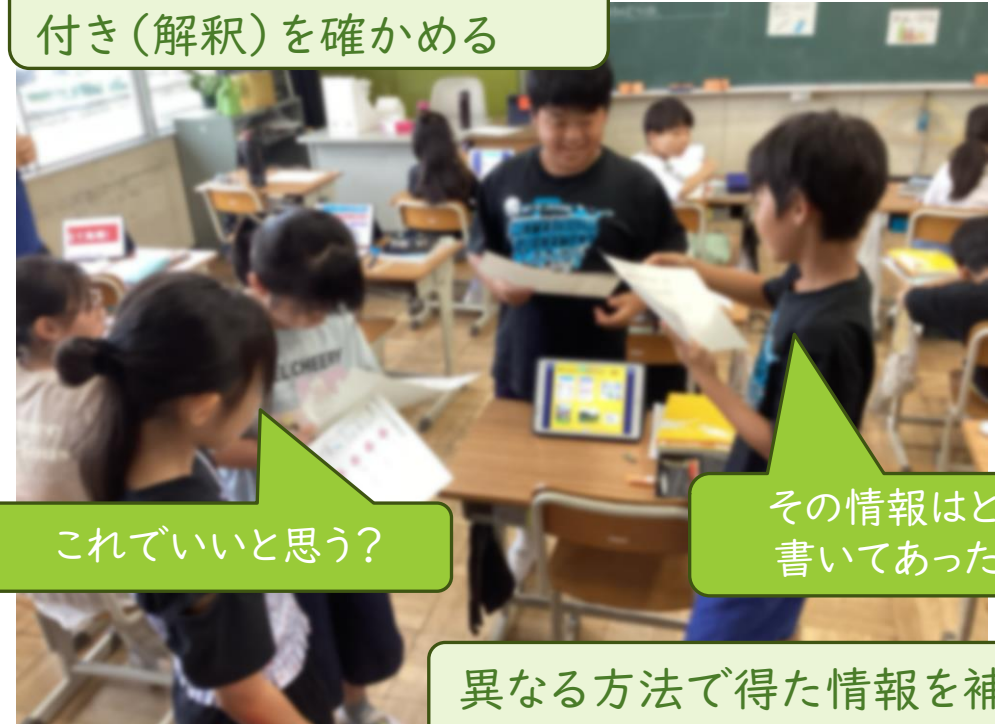
友達の見方を知り、
自分の見方を広げる生徒



僕はこう書いたけど、君は
どんな風に書いたの？

福島小

調べた情報と課題との結び
付き（解釈）を確かめる

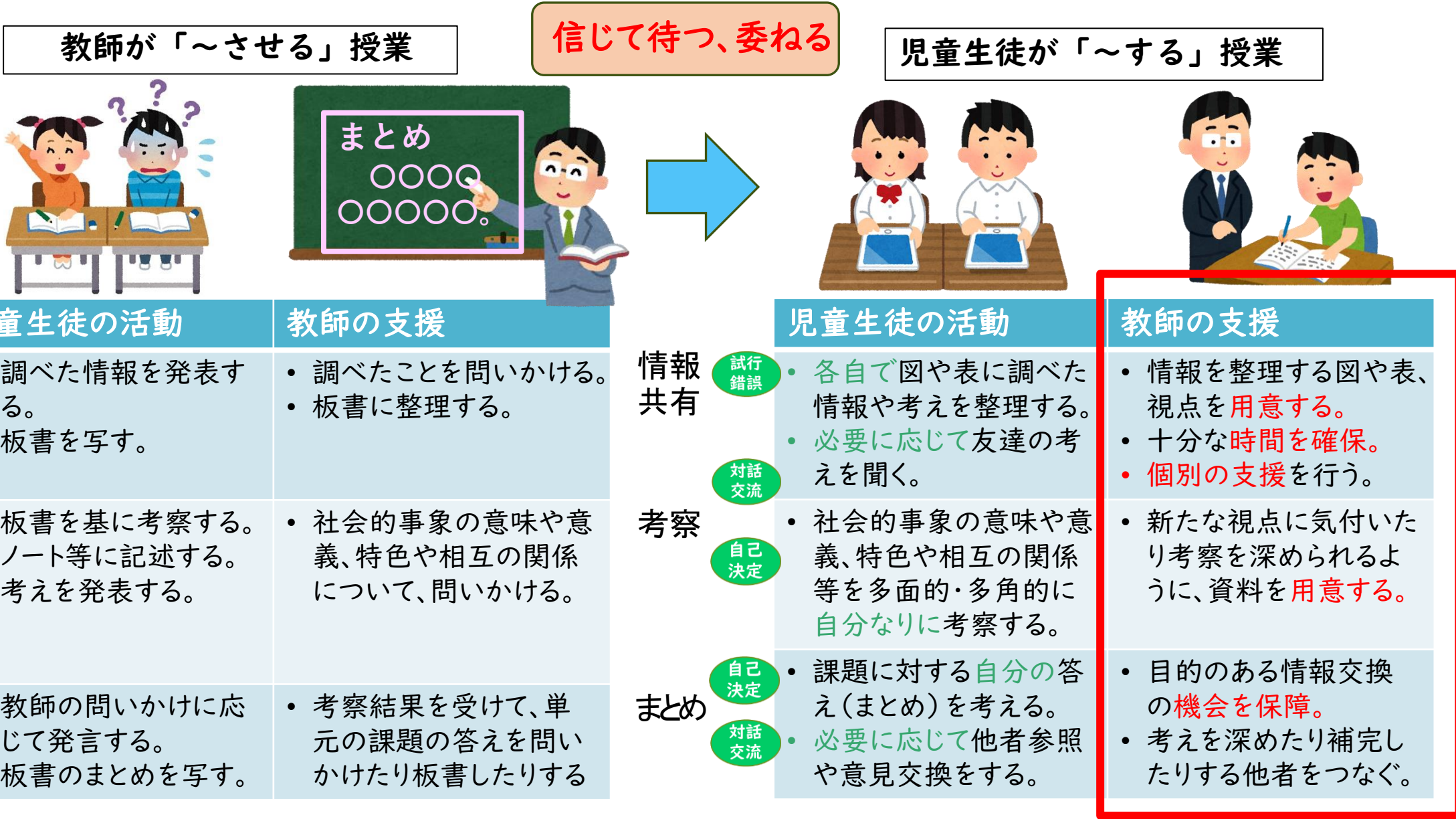


これでいいと思う？

その情報はどこに
書いてあったの？

異なる方法で得た情報を補完する

児童生徒に学びを委ねる。委ねるからには準備する。教師は「させる」から「ささえる」へ。



授業改善による福島小学校の児童の姿の変容

5月



- 児童がめあてを立て、振り返りはしているが、学習の見通しはやや弱い
- 話合いでは、一人一人が教師に向かって説明する
- 一部の児童の発言を中心に学習をまとめる

現在



- 単元の課題とその予想を基に、児童が学習計画を立て、見通しを持っている
- 児童同士が必要感をもって、調べた情報や自分の考えを伝え合う
- 情報をICTで共有し、学級全体で話合う内容が焦点化

授業改善による甘楽中学校の生徒の姿の変容

5月



- めあてや振り返りはあるが、課題意識や解決への見通しはやや弱い
- 教師の説明を聞きながら、ワークシートに重要な用語・語句を記入する
- 交流活動への必要感が低い

現在



- 大・小単元の課題と学習計画に沿って見通しを持って学ぶ
- 自分の考えを自分の言葉で伝えたり、グループで議論・合意形成したりする
- ICT等で考えを共有し、学級全体で話し合って概念的知識を導く

ま と め

社会科の目標に迫る児童生徒が「～する」授業に向けて

自分事化

自己
決定

対話
交流

試行
錯誤

授業デザイン

児童生徒の学び方改善

教師の役割の見直し

日常的なICT活用

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

社 会

○社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている

授業づくりのポイント

- ・ 課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。
- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

- 単元の課題の解決に向けて、「何を調べればよいか」を捉える場面を設定しましょう。
- 「社会的な見方・考え方」を働かせる問いを想定して、教材や資料を準備しましょう。

小学校学習指導案の評価規準について



2 単元の評価規準の作成のポイント (pp. 36~37)

(1) 知識・技能

- ① 調べて、必要な情報を集め、読み取り、社会的事象の様子について具体的に理解しているか。
- ② 調べたことを文などにまとめ、社会的事象の特色や意味などを理解しているか。

(2) 思考・判断・表現

- ① 社会的事象に着目して、問いを見だし、社会的事象の様子について考え表現しているか。
- ② 比較・関連付け、総合などして社会的事象の特色や意味を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現しているか。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか。
- ② よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているか。

| I 単元の構想 | | |
|----------------|---|---|
| 1 単元の目標及び児童の実態 | | |
| | 目標 | 児童の実態 |
| 知識及び技能 | <ul style="list-style-type: none"> 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の人々の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解することができる。 見学、調査したり地図などの資料で調べたりして収集した情報を、年表などに整理してまとめることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 上毛カルタ等で県内の文化財や年中行事の名称を知っている児童は多いが、内容まで理解している児童は少ない。 必要な資料を置いたり、必要な情報を読み取ったりしてまとめる児童は一定数いる。必要な情報を助言したりまとめるための視点を示したりするなど支援で取り組めるようになる児童は多い。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> 人々の願いや努力を考えたり、地域の伝統や文化の保護や継承に関わって、自分たちができることを考えたり選択・判断したりして、表現することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 一部の児童は、地域の廃棄物処理に関わって、ごみを減量する工夫など自分たちができることを考えたり、選択・判断したりできる児童は多い。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> 県内の伝統や文化について、主体的に問題解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。 思考や理解を通して、地域の伝統や文化に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> 指示に沿って調べたり、まとめることができる児童は多いが、自ら問いを見だし、学習計画を立て、学習問題を自ら解決しようとする児童は一部に限られている。 地域社会への興味関心はあるが、具体的な関わりを持っている児童は少ない。 |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ① 歴史的背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図やパンフレットなどの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 ② 調べたことを年表や表にまとめ、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の人々の様々な願いが込められていることを理解している。 | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象に着目して、問いを見だし、社会的事象の様子について考え表現している。 比較・関連付け、総合などして社会的事象の特色や意味を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして表現している。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> ① 県内の文化財や年中行事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に、地域の文化財や年中行事を保護したり継承したりするために自分たちができることを考えようとしている。 | |

語尾「～することができる」

語尾「～している」

単元の目標と評価規準は表裏一体の関係として、語尾のみを変えて記載してきたが、「**単元構成や学習過程に沿う具体的な評価規準を作成**」し、見取ることが必要。